

校長室だより 夢に向かって輝く児童の育成

No.50

令和2年10月22日 文責 校長 林 寛



秋が深まってきました。もうすぐ11月です。11月と言えば、「バルーンフェスタ」や「唐津くんち」といった佐賀県を代表するイベントやお祭りに全国からたくさんの方が集まってきていました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響で今年はどちらも中止になっています。季節を感じさせるものがないというのは、寂しい限りです。幸い、東脊振小学校の周りは、自然がいっぱいなため、稲刈りの終わった田んぼや、川岸に揺れているススキの穂、色づき散り始めた银杏の葉などで季節の移り変わりを感じることができています。上着を着てくる子供たちも増えてきました。

学校を飛び出して 吉野ヶ里遺跡と靈仙寺跡の見学

10月16日(金)に6年生が吉野ヶ里歴史公園へ校外学習に出かけました。7月に予定していた学習でしたが、天候の都合で延期となっていました。弥生時代の人々の暮らしを感じる貴重な体験をしていました。手作りのお弁当もおいしかったと思います。修学旅行などで県内外の小学生もたくさん訪れていました。 [10/16 吉野ヶ里遺跡見学⇒](#)

10月21日(水)には、3年生が松隈地区にある靈仙寺跡に出かけました。総合的な学習の時間の中で、6月から始めた「日本茶」をテーマにした学習で、今回も特別非常勤講師として多良正裕先生にお世話になっています。靈仙寺は今から1300年以上前に建てられたお寺で、日本最初の茶樹栽培地とされています。 [10/21 靈仙寺跡見学⇒](#)

上記の2か所の見学地は、吉野ヶ里町ならではの場所です。11月には2年生が町探検をします。ふるさとを知り、ふるさとを愛する東脊振小の子供たちに成長して欲しいと思います。



支えられています

学校は、いろいろな人たちに支えられながら、動いています。上記のゲストティーチャーの多良先生を筆頭に、登下校中の見守り、巡回指導などのPTA活動、10月から再開している「ましろの会」の方による木曜日朝の絵本の読み聞かせ、そして、特別支援学級の子供たちを中心に支援する「たち」のみなさんによるサポート。

子供たちが安心して学べるようにと、忙しい中スケジュールを調整してもらって、協力をいただいています。ありがたい限りです。それぞれの団体の活動に興味がある方がいらっしやいましたら、ぜひ学校までご連絡ください。



[たちの先生の関わり ↑](#)

11月1日(日)ファミリー参観



11月1日(日)は、今年度初めてとなる授業参観です。感染症防止対策のため、①地区別に、②保護者2名まで、③発熱やかぜの症状がある方の参観は不可…といった対応をお願いしています。参観される場合も『3密を避ける』形にご協力ください。参観時刻や地区の割り振りなどの案内文(10/5配布)は、学校HPに載せています。

東脊振小学校学校

ホームページは



こちら⇒



引き続き、毎朝の登校前の健康観察と検温をお願いします。